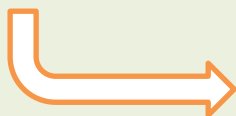


コースリーダーと研修員との絆

～研修スタートから研修員帰国後のフォローまで～



2017年5月14日、研修コースに参加するため
アフリカ地域から8名の研修員の皆さんが
JICA九州に集合しました。



2017年6月16日、8名の研修員の皆さんは、
総てのカリキュラムを終了し、無事に閉講式を
迎えました。



1) コースリーダー : 中島 康紀

2) 研修コース名 : 2017年度

【アフリカ地域 起業家育成・中小零細企業活性化】

2017年7月30日

(公財) 北九州国際技術協力協会 研修部

JICA/KITA 技術研修コースでアフリカから参加した8名の研修員と中島コースリーダーとの強い絆と研修コースの一例をご紹介します。

1. 研修に参加した研修員と研修スタッフの皆さん

- ・ 研修コース名： 課題別研修「アフリカ地域 起業家育成・中小零細企業活性化」
- ・ 受入れ期間： 2017年5月14日(土)～6月18日(土)

ナイジェリア		ルワンダ	
			
アイザックさん	バダさん	クララさん	ジャンさん

ザンビア	タンザニア
	
ロスさん	バルティさん

マラウイ

モスコさん



Generated by PTOLEMY

Welcome to JICA and KITA



JICA 九州
中野オフィサー



JICA 九州
波多野コーディネーター



KITA
中島コースリーダー

2. 中島コースリーダーからメッセージ



「アフリカ地域 起業家育成・中小零細企業活性化」コースは、政策立案よりもそれを実践される方々、すなわち中央省庁よりもその外郭・地方組織や商工会議所および企業（起業）人をメインの対象としています。コースのカリキュラムも企業人の講義や現場研修、ワークショップなどでできるだけ実学となるように工夫しています。

今回の研修員 8 名の内訳は、中央官庁 1 名、外郭・地方組織 3 名、NGO・商工会議所 3 名、私企業 1 名とほぼ狙いとマッチしていたように思います。

研修科目は単元目標（下記）に則って幅広いものなので、中には自分に直接関係ないものもあったと思いますが、関係ない中でも何か持ち帰ってやろうという意欲が伺われ頼もしい限りでした。

【単元目標】

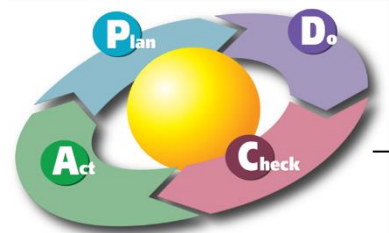
- (1) 日本の起業家育成及び、中小零細企業・地場産業振興施策を理解し、推進のための産学の役割を理解する。
- (2) 日本の企業マネジメントでの経営戦略、人財育成、マーケティングの基礎知識を理解し、自国の課題解決を推進する。
- (3) 中小零細企業・地場産業・地域発電設備・農村開発の実情を視察しかつ日本の文化習慣を学ぶことで起業家育成・中小零細企業活性化への有効な手法を考える。
- (4) 起業及び、地場産業活性化のために「アクションプラン」が策定できる。

研修の中で、研修員に非常に有用だと言わしめたのは、5S・KAIZEN で次いで一村一品運動でした。5S・KAIZEN では、それを実践している工場での明るく・清潔な現場状況やさまざまな工夫をしている姿を実際に見て深く感銘を受けたようです。企業活性化の打ち出の小槌のように見えたのかも知れませんが。アクションプランテーマに実に 8 人中 6 名が 5S・KAIZEN を取り上げているのがその証左だといえます。

ただ、実効をあげるには単にセミナーやワークショップの研修だけでは不十分です。いかにトップ層が強い意志をもって継続して引っ張っていけるかに大きくかかっています。

そのことは研修中にも色々話をしましたし、研修員も頭では分かっていると思いますが、実際にやってみると予想したこととは違うことが一杯出てきます。

けれども研修員は PDCA の概念を学びました。P は重要ですが、計画通りいかない場合の CA についても理解しています。きっと計画を練り直しステップバイステップでかつ永続的に進んでくれるものと確信しています。私もできるだけフォローアップしていきたいと思っています。



3. 研修コースの流れとカリキュラムの一例

2017年5月22日(月)

講義と現場研修（中島ターレット殿）： 5S と KAIZEN



様々な改善事例や現場が整理・整頓されていることに研修員は驚きが一杯でした。

2017年5月23日(火)

講義見学（中小企業大学校／直方校）： 教育支援



研修員の自国には、直方校のような中小企業向け管理・監督者を教育するシステムがなく、カリキュラムなどを熱心に質問していた。

2017年5月24日(水)

ジョブレポート発表会（JICA 九州）



研修員の皆さんから現在抱えている問題点（課題）を報告していただきました。

2017年5月28日(日)

大分県へ移動



2017年5月29日(月)～30日(火)

講義と現場研修（一村一品運動）



大分人材育成・地域文化交流協会
後藤会長による講義



一村一品運動発祥の地、大山町で
キノコセンター見学。会長は運動
提唱者の矢幡町長のご子息

一村一品運動の原点から現在まで全体を学ぶことができ、研修員は、地場産業活性化の足がかりを掴んだようです。

2017年6月4日(日)

東京研修旅行



2017年6月5日(月)～6月8日(木)

講義見学（各社訪問）



FAR EAST BAZZAR ルミネ新宿店
商品開発やマーケティングの実例を知ることができ
自国製品の出口のアイデアがたくさん出てきました



パナソニック東京センター
ソーラーランタン活用による地域開発事例を
学びました。

・アイザックさんからのメール



「こんばんは」

中島さんから優しい言葉をいただき、幸せな気分になりました。感謝いたします。あなたの下で研修を受けられたことを幸せに思います。愛と敬意をもって人を指導するのがどんなことなのか教えていただきました。

あなたは素晴らしい人です。もうすぐお別れするのが寂しいですが、始まりがあれば終わりが来るものです。この旅程も終わりが近づきました。しかし、私は JICA 関連のさらなる研修（ABE イニシアティブの修士、博士プログラム）、またはこの分野での専門家を目指し業務経験を積むために、再度の来日を実現したいと思っています。従って、ナイジェリアに到着したら、アクションプランの実行を急ぐつもりです。提供くださったお時間、心遣いのすべてに感謝いたします。

・ムマさんからのメール



中島さん

研修中のご支援と親切に感謝いたします。

時間がたつのは実に早く、もう家族の元へ戻る時がやってきました。日本で過ごした素晴らしい時間とここで得た学習、経験は決して忘れません。

途上国の成長を助け、日本と途上国との協力関係を築くための中島さんのご尽力、献身を、今後も継続いただければ有難いと思います。祝福がありますように。

「またね」

・クララさんからのメール



研修ウイークリーレポートを送付します。

先週の東京研修旅行は、あなたと一緒に素晴らしい思い出深い旅となりました。

いつかまた東京でお会いたいですね。

お礼のシャワーです！

・バダさんからのメール

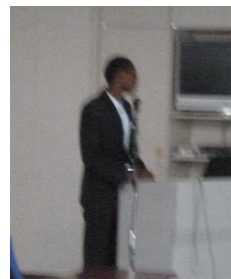


5週目の研修ウイークリーレポートを送付します。

もう一度、私はこの素晴らしい知識と経験を共有してくれたことを心から感謝致します。

2017 年 6 月 16 日(金)

アクションプラン発表会 (JICA 九州)

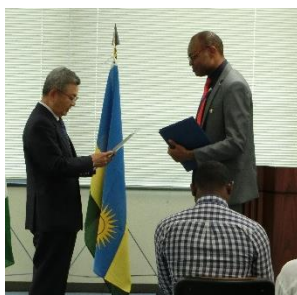


閉講式 (JICA 九州)

【研修員一人一人に KITA 古野理事長より終了証書が手渡されました】



モスコさん



アイザックさん



バダさん



ジャンさん



クララさん



パルティさん



ロスさん



ムアさん



研修員と関係者一同で
記念撮影。

研修員スピーチ（プレゼンター） アイザックさん



紳士、淑女の皆様

こんばんは。

本日この場にご参集いただきありがとうございます。

私はナイジェリアから来ましたアイザック・ウデと申します。

35 日前、我々はどのような社会、文化を体験することになるのか知らぬまま、それぞれの母国を出発してまいりました。今ここで、素晴らしい時間を過ごせたと皆様にお知らせすることができて幸せに思います。食事はおいしく、サービスも素晴らしいかったです。

皆様はご存じでしょうが、我々はこちらで、誠実、勤勉、時間遵守、細部までの心遣い、そして品質を重視する日本の文化を直接体験しました。これは我々の思考パターンの変革、またそれぞれの国における優先順位設定に役立つものと思います。我々が受けた研修は、総合的で、洞察力があり、示唆に富み、また我々の現状に関連したものでした。直面している問題の解決にきっと役立ちます。

研修員を代表して、アフリカ諸国へ関心をお寄せいただいたことにお礼申し上げます。アフリカへの巨額の投資と援助、またこの生涯の経験を与えてくださったことに感謝いたします。この高度なプログラムを実施いただいた KITA に感謝の言葉を伝えたいと思います。また、次の方々にも心より感謝申し上げます。後藤さん、矢幡さん、三木さん、チョウドリさん、増田さん、副島さん、坂本さん、北村さん、高柳さん、吉村さん、鈴木さん、日下部さん、平尾さん、岩下さん、西宮さん、叶さん。皆様のおかげで、素晴らしい経験ができました。

何より、日本の父：中島さん（コースリーダー）と母：羽田野さん（コーディネーター）に感謝いたします。お二人は最高で、大好きです。お二人の努力と忍耐、献身にお礼申し上げます。ありがとうございました。

最後になりましたが、我々全員は楽しい時間を過ごしました。我々が築き上げた関係は、我々ばかりでなくアフリカ大陸にとっても有益なものになると信じています。紳士、淑女の皆様ありがとうございました。さようなら。

2017 年 6 月 17 日(土)

離日

2017 年 6 月 19 日(月)

【中島コースリーダーより帰国した研修の皆さんへメール】

皆さんは、それぞれの母国へ安着したことと思います。



日本で学んだ5週間は、皆さんの今後の仕事に多いに役立つものと期待しています。

そして皆さんの国の発展に貢献できると確信しています。

帰国後、研修員皆さんの行動計画を実行推進する上で、その進行状況をお知らせしていただくと幸いです。

宜しくお願いします。

コースリーダー： 中島 康紀

・バダさんから帰国安着メール 2017/6/19



中島さん

無事帰国しました。知識と経験を私に分け与えていただき、感謝いたします。

アクションプランに進展があった時は必ず報告いたします。

日本滞在中のあなたの努力に本当に感謝しています。いつまでも忘れません。

・ジャンさんから帰国安着メール 2017/6/19



ありがとうございます。

私は、自国の発展を促進するために、研修で学んだことを実践するよう最善を尽くします。

中島さんのやさしさと配慮、愛を忘れません。神の祝福がありますように。また会えるといいですね。

・クララさんから帰国安着メール 2017/6/20



中島さん

無事到着しました。メールいただいたこと、また持続的な発展のためにご支援いただいたことに感謝いたします。また連絡しますね。良いお時間を。

・ロスさんから帰国安着メール 2017/6/21



中島さん

私は無事帰国し、国の発展に貢献する思いを強くいたしました。

アクションプランの進行状況については、随時報告したいと思います。

滞在中にいただいた総てと北九州での素晴らしい思い出に感謝いたします。

・アイザックさんから帰国安着メール 2017/6/21



「こんにちは。」

ナイジェリアに無事到着しました。それぞれの国に帰った他の研修員たちとも連絡が付きまして。もうすでに日本が恋しく、中島さんと波多野さんに会いたくなりました。

私たちの日本での滞在を思い出深いものにしてくださったすべての時間と努力、支援に感謝いたします。 どうもありがとうございました。

私は JICA ナイジェリア事務所に提出する報告書を準備していて、その後、できるだけ早くアクションプランを実行していきたいと思います。なぜなら、より専門的な知識と経験を得るために、早く次の日本訪問の機会を得られるようにするためです。

日本で、何かのチャンスがあれば私に知らせてください。また、私からの情報が必要な場合も、お気軽にお尋ねください。また連絡します。

アリガトウ ゴザイマス

・ アイザックさんより研修報告書が届く 2017/7/07



私は研修報告書および行動計画書などの書類を JICA ナイジェリア事務所に提出しました。

JICA 九州で学んだ種々の研修を自国で展開すべくスタートしています。

研修コースでお世話になった日本の皆さんの努力と献身に感謝します。

機会があれば、無報酬でも構わないので日本の企業で働く経験を積みたいと思っています。

アリガトウ ゴザイマス

クリックしてレポートを
ご一読下さい。(英語版)



日本で経験した研修をヒントにして、自国の中小零細企業の活性化を目指して下さい。それぞれの国で今後の活躍を期待しています！

以上